

科目名	英語教材研究			ナンバリング	EDU241	授業形態	講義
対象学年	2年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	青木茂治	担当教員					

授業の概要	英語教育は現場の英語教師による日々の教材研究によって支えられている。この授業では、理想的な教材の在り方や効果的な活用法について検討していく。理論的なことを論じつつ、やや実践性に重きを置く。そのため、学生自身が教材を作成したり授業計画をたてたりする訓練の場としても位置づける。授業ではリスニング指導やスピーキング指導、リーディング指導、ライティング指導、文法指導など、いくつかの項目に分けて、それぞれの特性に応じた教材研究の在り方を探っていく。実際の英語教育の現場で用いられている教材なども示しながら、将来英語教育に携わろうとする学生の意欲の涵養にも努めていく。
到達目標	1. 英語の特性と英語教材研究の意義を理解し、説明することができる。 2. 英語4技能(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)や語彙・文法指導の基本的な事柄を理解し、説明することができる。 3. 自律的に教材分析や教材作成ができる。
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	特別な予備知識は必要としないが、意欲的な態度で授業に参加することを強く求める。各回の授業の内容はしっかりノートに整理し、自らの学習に役立てることが必要である。また、この授業は実践性に重きを置くので、自ら資料を作成したり発表したりすることに積極的であることが肝要である。
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】
	<input type="radio"/> 1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
	<input type="radio"/> 2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。
	<input type="radio"/> 3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。
	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。
	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①英語の特性と英語教材研究の意義を説明することができる。 ②英語4技能の指導の特徴を説明することができる。 ③教材分析や教材作成ができる。	①英語の特性と教材分析を活用し、質の高い教材案を示すことができる。 ②英語4技能の指導の特徴を理解し、授業計画をたて実践につなげることができる。 ③自律的に教材分析や教材作成ができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○			○		50%
授業態度・授業への参加							
発表	○	○	○	○	○		50%

課題、評価のフィードバック	発表に対するコメントと受講者全員による検討。レポート(教材案)については、コメントを付す。
---------------	-----------------------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション	・導入(授業の進め方や評価方法についての提示) ・意欲づけ(①英語の言語的な特性の理解→②英語教材研究の意義)	
	第2回	教材開発論 音声と文字の指導	教材開発に関わる事項を整理する。 音声と文字のつながり、音声変化、プロソディなどについて整理する。	
	第3回	リスニングの指導 その1	リスニングの基本概念や諸問題について説明し、効果的なリスニングの活動について考察する。	
	第4回	リスニングの指導 その2	リスニングの指導について、学生の発表をもとに、そのポイントや問題点について検討する。	学生の発表あり。…①
	第5回	スピーキングの指導 その1	英語教育における効果的なスピーキング指導について検討する。	
	第6回	スピーキングの指導 その2	スピーキングの指導について、学生の発表をもとに、そのポイントや問題点について検討する。	学生の発表あり。…②
	第7回	リーディングの指導 その1	4技能の統合や理論的・批判的思考力の養成を念頭に、リーディング指導をどのように実践していくべきかを検討する。	
	第8回	リーディングの指導 その2	リーディングの指導について、学生の発表をもとに、そのポイントや問題点について検討する。	学生の発表あり。…③
	第9回	ライティングの指導 その1	発表的技能、あるいは自己表現のための技能として、ライティングをどのように指導することが求められるのかについて考える。	
	第10回	ライティングの指導 その2	ライティングの指導について、学生の発表をもとに、そのポイントや問題点について検討する。	学生の発表あり。…④
	第11回	文法指導 その1	学習者が文法や表現を効率的に学習するにはどのようにすればよいのだろうか。文法指導の理論的意義や、コミュニケーション能力を養成するための文法指導の方法について検討する。	
	第12回	文法指導 その2	文法指導について、学生の発表をもとに、そのポイントや問題点について検討する。	学生の発表あり。…⑤
	第13回	語彙と辞書指導	英語教育における語彙指導と辞書指導について触れる。	
	第14回	授業の準備と計画、および授業の形態 学習指導案	実際の授業がどのような準備を経て、どのように展開されているのか。具体例を示し、そのポイントや問題点を学ぶ。さらに、学習指導案作成の初歩について学ぶ。	
	第15回	振り返り・まとめ	第1回～第14回までの授業内容の総括と補足。 授業外レポートの返却。	
	試験	試験は実施せず、発表①～⑤(授業内)とレポート(授業外)を課す。		
授業の進め方	講義および学生の発表による。			
授業外学習の指示	学生自身が教材案を作成することになるので、資料の収集や分析が必要になる。具体的なことは授業で指示する。  (授業外学習時間: 毎週 90～120 分)			

教科書	特に指定せず、必要に応じて資料を配付する。(配付する資料は確実に保管すること。)
参考書	適宜指示する。
参考URLなど	適宜指示する。
その他	授業に出席することは極めて重要である。